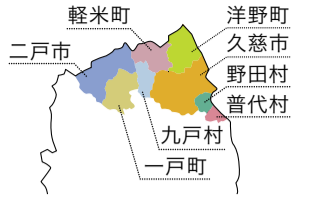


北いわての魅力を伝える広報誌



# 北いわてで最前線

## 2014

### 戦国ダンシ 九戸政実

Chapter  
01

北いわては  
武士(ものぶ)の舞台。  
九戸政実が駆け抜ける!



Chapter  
02

来て・見て・ふれて!  
北三陸



Chapter  
03

山・川・ゆたか  
カンオペア  
体験交流くらぶ



Chapter  
05

希望郷いわて  
国体・大会を  
成功させよう



Chapter  
04

岩手の鶏肉産地・  
北いわてで  
「とり合戦」開催



# 北いわては

Chapter  
01

# 武士(ものものぶ)の舞台。

# 九戸政実が駆け抜ける！

南部家の分家、九戸一族に生まれた九戸政実。駿馬を駆って勇猛果敢に戦う武将として、南部家で一、二を争う実力者になった政実ですが、それゆえに、豊臣秀吉の天下統一に抗う東北の豪族たちとともに、秀吉の大軍に挑むこととなったのです。

## 信念と誇りを貫いた英雄・九戸政実

九戸政実(くすくす)は戦国時代の後半、現在の北いわてを舞台に活躍した武将です。地方の事情を無視した豊臣秀吉の理不尽な奥州平定に抵抗する東北の豪族を率いて天下の軍勢6万5千に立ち向かいました。伊達政宗も「奥州一の武将」と政実の武勇を称賛、南部信直の支配下から独立を目指すよう励ましたと言われます。政実の居城・九戸城にこもる兵はわずか5千余。難攻不落の堅城は天下の軍勢を寄せ付けず、信念と誇りを貫いた九戸政実の名は歴戦の武将たちに知られるようになりました。

北いわてには今も九戸政実ゆかりの史跡が数多く残ります。九戸城跡(二戸市)には自然地形を利用した深い空堀が

残り、弾丸や刀剣など戦いの凄まじさを物語る遺品が出土しています。政実の故郷といわれる九戸村には政実の首塚や九戸神社があり、菩提寺・長興寺境内の公孫樹(いちちょうの木)が歴史の古さを物語ります。一戸町には豊臣軍が攻め込んだ古道(旧奥州街道)が残り、激しい前哨戦で落城する一戸城跡がひっそりと残されています。

一方、九戸一族の勢力は岩手県沿岸北部にも及んでおり、政実(政実)は弟の政則(政則)を大川目にある久慈城主・久慈直治(久慈直治)の養子として入嗣(入嗣)させました。その城跡は今も山林のなかに残り、草木が枯れた初冬に訪れれば、空堀や主郭の遺構を見ることが出来ます。



桜が彩る九戸城本丸(二戸市)

1591年「九戸合戦」の舞台九戸城は、豊臣方の蒲生氏郷の手で改築され南部氏の居城「福岡城」になる。昭和19年、りんご狩りにこの城跡を訪れた詩人の土井晩翠は九戸城の悲劇を聞き、自ら筆をとり「荒城の月」の書を残し帰りました。



ひっそり山里に残る久慈城跡(久慈市)

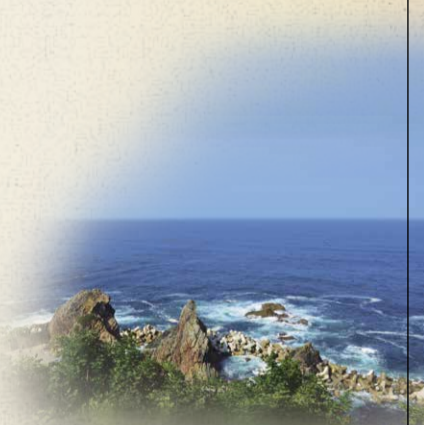
久慈城は、久慈川沿いに開けた平野を一望する山を利用して構築された戦国期の平山城で、現在は帯郭、堀、馬場跡などが残っている。久慈城最後の城主・久慈備前守直治は、九戸合戦において政実とともに戦った。



長興寺(九戸村)

九戸家代々の菩提寺。境内の公孫樹(いちちょう)は、政実が出陣の際に植えたものとも伝えられています。

### 九戸政実をめぐる勢力図



北三陸沿岸部も政実の勢力圏 政実(政実)は勢力圏を拡大。小説『冬を待つ城』(安部龍太郎著『小説新潮』連載)では久慈城主・直治、政則(政実弟)の活躍が描かれる。



# 九戸政実市民文士劇初公演！ 北いわてを市民が熱くする。

岩手県出身で直木賞作家の高橋克彦氏が九戸政実の生涯を描いた小説『天を衝く』を原作とする市民文士劇が初公演。10月12日の公演に向け、1ヶ月あまりと迫った8月下旬のその夜、迫真の稽古が続けられていました。

天下に喧嘩を売った男 戦国武将「九戸政実」の熱き物語

## 九戸政実市民文士劇

平成26年 10月12日(日)

昼の部 開場13:00 開演13:30  
夜の部 開場17:30 開演18:00

三戸市民文化会館大ホール

前売券 大人 1,000円 高校生以下 500円  
当日券 大人 1,200円 高校生以下 700円

原作 高橋克彦 脚本 橋又裕 演出 坂田裕一

【特別出演】



【主催】九戸政実市民文士劇実行委員会  
【共催】九戸政実プロジェクト実行委員会、岩手県東北広域振興局、三戸市、九戸村  
【後援】岩手日報社、朝日新聞盛岡支局、読売新聞盛岡支局、毎日新聞盛岡支局、河北新報社、産経新聞盛岡支局、日本経済新聞盛岡支局、岩手日報新聞社、株式会社アールー東北新聞社、一般社団法人共同通信社盛岡支局、時事通信社盛岡支局、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、株式会社エフエム岩手、盛岡タイムス社、オアシスエフエム、特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター、三戸市芸術文化協会  
【協賛】多くの企業、団体、個人の皆様からご協賛いただきました。(ご芳名は九戸政実プロジェクトホームページ、当日配布パンフレット掲載。)  
【チケットの取扱い、お問合せ】三戸市民文化会館(岩手県三戸市石切所字隈六1-1) TEL.0195-23-7111 FAX.0195-22-1187 E-mail info-ninohe@tohoku-kyoritz.co.jp  
【チケットの取扱い】三戸市民文化会館、三戸ショッピングセンターニコア、アイックス、喫茶チャイブ(シビックセンター内)、金田一温泉センター、キッズワールド(三戸町イコシヨウビルセンター内)、軽米町物産交流館、道の駅おりづめ「オドアド」、岩手県民会館、八戸市公会堂、八戸市南郷文化ホール、田子町ガーリックセンター、ローソンチケット(北コード28301)

九戸政実市民文士劇『天を衝く』(原作：高橋克彦、脚本・道又力、演出：坂田裕一)には公募で集まった50名を超える一般市民の出演者をはじめ原作者の高橋克彦さんや井沢元彦さん(作家)、北上秋彦さん(作家)、神山浩樹さん(アナウンサー)、藤原淳さん(二戸市長)、五枚橋久夫さん(九戸村長)、五日市王さん(岩手県議会議員)、工藤大輔さん(岩手県議会議員)が特別出演します。

お盆明けのこの日、久しぶりに行われた稽古は真剣そのもの。学校や仕事を終えた市民出演者が顔を揃えたのは午後7時過ぎ、およそ2時間の間、演出家坂田裕一さん指導のもとセリフや立ち居振る舞いの確認が行われました。第1幕第1場で演じられる場面は、永禄10年(1567)秋、三戸城大広間を舞台にした南部晴政や重臣列座の軍議評定。九戸政実の大胆不敵な態度を描くこのシーンでは、九戸政実役の古館聖人さんがセリフの一言一句を確かめながら所作を確認、演出者の厳しい指摘を受けながら、同じ場面を演じる他の出演者との間を確かめていました。一方、小学生や中学生出演者も懸命の演技。政実の長男・



九戸城に立てこもる政実のもとを南部信直が密かに訪ねた。意外な展開にやがて二人は…。



舞台前半の名場面！幼い南部晴政が何者かに暗殺された。九戸政実は怒りの形相。



合戦シーンの殺陣(たて)を確かめ合う出演者たち。



「自分たちも合戦に参加させてください…」 亀千代の直訴を受けた政実は諭すように言う。



舞台の模型を前に役者の立ち位置を説明する演出家、坂田裕一さん。出演者の皆さんは真剣そのもの。

### 結束の強さにひかれます

九戸政実の強さの秘訣は政実を支える結束の強さ。ふれることのない気持ちが「かっこいい」と思います。リーダーの魅力は、良くも悪くも真っ直ぐなところ。役柄を通じて政実が抱く思いを助けたいと感じています。演出助手としては演出家・坂田さんの思いが役者に伝わるよう助けたいですね。(談)



九戸政実の腹心 原田を演じる 山井真帆さん

### 地域が誇りと感じるように

私も「現代の九戸政実くん」の一人です。市民文士劇や趣味の音楽活動を通じて地域活性の役に立ちたいです。政実が秀吉や政宗のようなビッグネームになる必要はないと思います。東北地方の人たちに、「九戸政実」といえば「二戸市」と思ってもらえることができれば、それだけで嬉しく、誇らしいですね。(談)



九戸政実の弟 実親を演じる 佐藤貴之さん

### 一途な男の人生に感激

九戸政実という武将の、芯が曲がらない、しっかりとした生きざまに共感を覚えます。原作本を繰り返し読みながら、私も会社を営む者の一人として、政実に学ぶことがたくさんあります。観客が百人いれば百人の政実像が生まれると思います。自らの政実像を創り上げる楽しさを感じてください。(談)



九戸政実を演じる 古館聖人さん

## 政実の足跡

「理不尽」に抗い、天下人と戦った

政実関連記事 / 時代背景、周囲の様子

年

- 1536 天文5 政実生誕(諸説あり)
- 1565 永禄8 南部氏24代晴政「はるまさ」に男子なく、従兄弟の子・信直「のぶなお」が田子から婚着子(後継者)に。
- 1570 元亀1 晴政に男子(後の晴継)誕生し、信直は後継者からはずれる。
- 1573 天正1 晴政次女が政実の弟・実親「さねちか」に嫁ぐ。
- 1576 天正4 晴政の長女だった妻が死亡し、信直は三戸城から田子城に戻る。
- 1582 天正10 晴政没。13歳の晴継「はるつぐ」が25代目を継ぐが、晴政の葬儀の帰りに暗殺される。
- 1587 天正15 26代選任会議。候補は晴政の嫡嗣・九戸実親、八戸政栄、田子信直。実親が優勢だったが、北信愛の策略で信直に決定。政実、不満を抱く。
- 1590 天正18 信直、南部馬や鷹を生産し、加賀の前田利家に北信愛を派遣。豊臣秀吉に服従を表明。
- 1591 天正19 7月27日、信直、秀吉から所領安堵の朱印状を受ける。秀吉の奥羽平定に反発した大名が東北各地で反乱。秀吉は次々と鎮め服従した大名を救う。
- 1592 天正20 9月2日朝、開戦。5千余の政実軍は数々の策略で豊臣軍に大打撃を与え、政実軍に王を焼いた豊臣軍は、9月3日、偽りの和議申し入れ作戦を考案。長興寺の薩天和尚さまして仲介役として政実らの説得に当たった。
- 1593 天正21 周囲が「罵た」と反対するなか、九戸家安泰と周辺の住民や百姓たちの平和な暮らしを願い降伏を決定。4日討伐軍の迎えに、政実が武器も持たずに城を出たところを監視。主が捕われた城はその日のうちに焼きつくされ、5千の城兵は「なで斬り」された。
- 1594 天正22 秀次が待ち構える三戸(現・宮城県)に政実到着。政実は9月20日に首をはねられて秀吉の日本平定が成立。「九戸合戦」は秀吉下統一の最後の戦となった。

監修 神山(日本城郭研究会)



ジオサイト 種市海浜公園 / ジオポイント ウニ増殖溝(洋野町)  
 およそ8,500万年前に形成された「種市層」と呼ばれる岩盤に人工的な溝を掘り、ウニやアワビを放出し育成しています。

東日本大震災津波で大きな被害を受けた北三陸。国内外の皆様からのあたたかい御支援を受けて、住宅の再建や防潮堤の整備などが着々と進められています。震災からの復興を加速させるためには、「なりわいの再生」をさらに進め、地域経済を活発にしていくなが必要があります。そのためには、私たちの地域にある様々な地域資源を宝を磨き上げて、国内外からたくさんの方々に北三陸に来ていただき、おもてなしすることによって観光の振興を図ることもとても重要です。

ここでは、北三陸に「来て、見て、ふれて」もらい、交流人口を拡大させることを通じて、観光の力で復興を目指す北三陸地域の取組として、長い時間にわたって自然がつくりあげてきた財産ともいえるべき「三陸ジオパーク」と、地域ぐるみで体験型プログラムによりお客様をもてなす取組「全国ほんもの体験フォーラムいわて」を紹介いたします。

# 来て・見て・ふれて！ 北三陸

KITA  
SANRIKU

Chapter  
02



## 三陸ジオパークとは？

「ジオ」は地球、大地、地質などの意味を持つギリシャ語に由来する言葉で、「ジオパーク」は地球科学的に見て重要な、あるいは素晴らしい景観を持つ自然公園の種で、ユネスコの支援を受けた世界ジオパークネットワークが推進する世界的な取組です。

三陸ジオパークは、平成25年9月に日本ジオパーク委員会に認定された、青森・岩手・宮城の3県16市町村からなる、日本最大のジオパークです。三陸の大地は地球史を語る上で欠かすことのできない、およそ5億年



ジオサイト 黒崎(普代村)  
 海岸沿いを散策しながら景観を観ることができるアンモ浦は、200mの高さの断崖。アンモ浦の滝は、落差150mの岩手最長の滝です。



ジオサイト 小袖海岸(久慈市)  
 小袖海岸の岩礁や海岸洞穴は白亜紀のマグマが固まりそれが太平洋の荒波で侵食されて形成されました。この地形はウニやアワビなどを育み、それらを採取する「北限の海女」は朝の連続テレビ小説のモデルにもなりました。

前まで連続的に遡れる大地の記憶が眠る場所です。さらに、東日本大震災津波をはじめ、繰り返されてきた震災の記憶を後世に伝え学ぶ地域でもあります。

ジオサイト、ジオポイントとは、一言でいえば、ジオパーク内部の「見どころ」のことを指します。三陸ジオパーク内には、景勝地や、自然と文化のつながりを持つ場所、東日本大震災津波の被害の大きさを物語る場所など、48か所がジオサイトとして選定されています。

三陸地域では、昔から地震・津波が繰り返して発生してきました。津波被害を伝える石碑や人々の生活に防災文化が根つき、東日本大震災津波を直接的に伝えるいくつもの震災遺構の保存も進んでいます。また、震災とそこからの復興の経験を伝える語り部ガイドの活動も各地で活発になってきています。こうしたことから、震災学習による教育・研修旅行の誘致を中心とした誘客の拡大が大いに期待されており、情報発信の強化などの取組が進められています。

お問い合わせ／三陸ジオパーク推進協議会  
 TEL0193-64-1230



このMAPには東北広域振興局管内にあるジオサイトのみ掲載しています。



ジオサイト 野田玉川鉱山跡(野田村)  
 野田玉川鉱山は観光坑道として整備され、マリンローズパーク野田玉川として公開されています。現在は、バラ輝石を宝飾品の加工・販売用に採掘しています。

# 第11回 全国ほんもの体験 フォーラム in いわて

今や各地で盛んに実施されている、地域の文化や産業にふれる体験プログラム。その関係者が集まって体験型観光を考える「全国ほんもの体験フォーラム」がこの秋、北いわてを会場に開催されます。毎年、場所を変えて全国規模で行われてきたこのイベント、今年の岩手開催は東北初となります。

開催目的は、おもにコーディネーターや代理店、各地域のインストラクター、民泊受け入れ者の資質向上ですが、事務局を務める久慈市産業振興部交流促進課では「新たに携わる人材」の育成も視野に入れており、「これからやってみたい」「興味がある」という人の参加も歓迎。ツアーガイドやインストラクターなどをやってみたいという人、また体験型観光とはどういうものか知りたい人にも、ぜひ参加してほしいといえます。

体験型観光でおもてなし  
目の前にあるものが「宝物」



## こんなにある体験プログラム



**久慈市**  
あの北三陸を満喫!  
「じえじえ」の体験  
「あまちゃん」でおなじみ、全国唯一の琥珀採掘やまめぶ作りを楽しむ、久慈市ならではのツアーです。〈まめぶ作り体験〉



**洋野町**  
木工体験&  
人的被害ゼロの防災学習  
洋野産木材で世界にひとつだけの「木のぬくもり箸」が作れます。大津波をくい止めた防潮堤も見学します。〈箸づくり体験〉



**葛巻町**  
ミルクとワインとクリーン  
エネルギーを巡るエコツアー  
ここは日本有数の酪農の町。山村の魅力をお楽しみください。〈酪農体験〉



**野田村**  
被災地復興・  
のだ塩ベコの道ガイドツアー  
塩を内陸に運んだベコの道を歩き、北三陸最大の被災地復興の様子を特産品の再出発を通してお伝えします。〈「塩の道」を歩く〉



サツパ船で刺し網体験、1日漁師! 〈漁師体験〉



**普代村**  
漁師の暮らし体験ツアー  
おら、漁師になりてえ! 思わずそう叫びたくなる漁師の日常、食、仕事を体験。郷土芸能も鑑賞します。〈鮭漁〉



**田野畑村**  
番屋エコツーリズム&大津波語り部  
雄大な北山崎を海から望むサツパ船アドベンチャーズを楽しみ、津波伝承から三陸の生き様を学びます。〈サツパ船アドベンチャーズ〉

### 開催案内

■体験プログラム 10月24日(金)午後・25日(土)午前

開催地 久慈市・洋野町・葛巻町・野田村・普代村・田野畑村

■全体フォーラム 10月25日(土)

会場 第1部～第3部 久慈市文化会館アンバーホール  
第4部 ロイヤルパークカワサキ

スケジュール 12:30～開会式 15:05～第3部 公開パネルディスカッション  
12:50～第1部 事例発表  
13:50～第2部 記念講演 「命を感じる暮らし」 講師/高木美保さん [タレント]

■課題別研究分科会 10月26日(日) 9:00～12:00

開催地・会場 第1分科会 久慈市 久慈市文化会館アンバーホール  
第2分科会 洋野町 洋野町民文化会館  
第3分科会 葛巻町 ふれあい宿舎グリーンテージ  
第4分科会 野田村 野田村生涯学習センター多目的ホール  
第5分科会 普代村 国民宿舎くろさき荘  
第6分科会 田野畑村 しおさい交流センター

詳しくは、三陸鉄道株式会社 三陸ツーリスト本社営業所までお問い合わせください。

お問い合わせ ☎ 027-0076 岩手県宮古市栄町4番地  
TEL: 0193-62-8900 FAX: 0193-63-2611 E-mail: info@sanrikutetsudou.com

※このコーナーの写真は体験プログラムのイメージ写真です。



第3回 金田一のブルーベリー摘み取りと料理体験くらぶ  
大建ももこ課長(二戸市駐在)



第5回 夏はさっぱりベトナム料理体験くらぶ  
中村富美子課長(九戸村駐在)



第1回 奥中山高原の旬のレタス収穫体験くらぶ  
愛木拓五郎課長(一戸町駐在)



第6回 二戸でそば打ち体験くらぶ  
米田カヨ課長(二戸市駐在)



第2回 “南部美人ジャム” 作り体験くらぶ  
富着いちこ課長(二戸市駐在)



第4回 軽米町の雑穀料理体験くらぶ  
関向玲子・高橋妙子・中道ハル工課長(軽米町駐在)



第10回 フラワーアレンジメント体験くらぶ  
馬場淳課長代理(二戸市駐在)

第11回 一戸の奥州街道体験くらぶ  
愛木稔課長(一戸町駐在)

たのしいプログラムが、この後もやくやく登場!  
おたのしみに!!

10/5 (日)  
第12回 戸田かぼちゃまつり体験くらぶ  
村田勝義課長(九戸村駐在)



10/13 (月・祝)  
第13回 立体農場体験くらぶ  
小井田重雄課長(九戸村駐在)



# 川ゆたか カシオペア 体験交流くらぶ

Chapter  
03

子ども達の  
好奇心を  
大切にしたい!



第9回 メツチャてんこもり “岩誦坊汁” 体験くらぶ  
田口由太郎課長(二戸市駐在)

「カシオペア連邦局おもてなし課長」と一緒に“つくる”体験交流プログラム

第8回 浄法寺漆体験くらぶ  
松沢卓生課長代理(二戸市時々駐在)

今年度は11月ごろまでに小学生親子を対象に20回程度を予定。来年度以降も継続し、内容もどんどん充実、拡大させていただきます。

地域のPRに取り組み「カシオペア連邦局おもてなし課長」による「山・川・ゆたかカシオペア体験交流くらぶ」が今年度から始まりました。地域資源の体験を通じたおもてなしで、二戸地域の魅力を発信していきます。

人との出会い、ふれあいはとても魅力的なもの。旅行の一番の思い出がたまたま現地で出会った人...ということもあるのではないのでしょうか。まして、一芸に秀でた地域の達人であればなおのこと。

そこで、二戸地域ならではの「自然・生活風土(山・川)や「ひと・歴史文化」(ゆたか)などの資源を活かした体験を通して、指南役のおもてなし課長と参加者がふれあう「山・川・ゆたかカシオペア体験交流くらぶ」が誕生しました。楽しい時間を共有し、「また行きたい」との想いにつながります。

## 縄文時代から続く編みの文化! 第7回 一戸の竹細工体験くらぶ おもてなし課長インタビュー

6組15名の親子が参加した8月8日の「山・川・ゆたかカシオペア体験交流くらぶ」。地元のすず竹を使った竹細工に挑戦しました。前日に、紙で編んで練習したという熱心な参加者もいて、先生もびっくりするほど器用に編みあげて完成させていました。

### 楽しいことは続く。 作って喜んでいただくことが次につながる。

鳥越竹細工製品製作者  
柴田 恵 課長(一戸町駐在)

地元の竹細工で使うすず竹は、御所野で出土する縄文土器にも使われていました。昔から身近な材料で道具を作ってきたんですね。今回は、そのすず竹で「ザルメ」の体験です。作ったものを家で使ってほしいので、多目的に使えるデザインにしました。教えるときは、どうやったら次につなげていけるかを考えます。竹細工は材料から作りませんが全部やると苦痛なだけ。形を決める難しい底の部分まではこちらで整えて、その先を完成させて「今度はこういうものを作りたい」とつなげてほしいです。今回の参加者の子どもたちは、自分自身でとってもしっかり編んでいます。親御さんがいるので難しい仕上げの縁もつけたので、丈夫なものになります。完成品を家で使い込んで、修理して長く使える竹細工の良さを知ってもらいたいですね。



カシオペア連邦局  
おもてなし課とは...

「カシオペア連邦」は、旧浄法寺町(現二戸市)、一戸町、二戸市、九戸村、軽米町を結ぶと星座・カシオペア座に似ていることから付けられた愛称です。平成25年、連邦PRのために「カシオペア連邦局おもてなし課」を発足し、地元で活躍する13名を「おもてなし課長」に任命。課長代理も募集中です。

企画 県北広域振興局 経営企画部 二戸地域振興センター(交流連携グループ) ☎0195-23-9201

★参加者募集チラシなどの情報は、当センターのHPをチェック!

[http://www.pref.iwate.jp/kenpoku/nino\\_chiiki/026556.html](http://www.pref.iwate.jp/kenpoku/nino_chiiki/026556.html)(または、「二戸地域振興センター」、「山川ゆたかカシオペア」で検索)

# 岩手の鶏肉産地・北いわてで「とり合戦」開催

8月9、10日「カシオペアメッセ・なにやーと」(二戸市)で「とり合戦 北いわての陣」が開催されました。

全国第3位の鶏肉生産量を誇る本県の中でも、有数の産地が集まる北いわて。鶏肉の魅力を発信する県内初のイベントとして注目が集まる中、9千人の来場者で会場は大いにぎわいました。

岩手県は、生産量全国3位、東北では断トツ1位の鶏肉生産県。なかでも北いわては九戸村、洋野町、二戸市、軽米町、久慈市、一戸町が県内生産量トップ10に入っています(平成25年データ)。

今回のイベントは、鶏肉一大産地の北いわてから鶏肉の魅力を発信し、基幹産業である食産業を盛り上げていくことを目的に開催されました。会場では、二戸地域を中心に食を通じた地域づくり団体、飲食店ほか計28店がそれぞれ自慢の味を提供。「二戸ぶつとべつくね串」や「カシオペア五つ星カレー」など地元食材を活用した料理や、人気飲食店も多数登場し、西の王者、鹿児島、宮崎からの参戦組と熱い「合戦」を繰り広げました。

また、岩手県チキン協同組合ブースでは共同出展した生産企業が熱心にPRを展開、各社長さんたち自ら鶏肉の栄養成分、生産に関する情報や商品紹介のチラシ、イベントグッズなどを配布していました。株式会社十文字チキンカンパニー・十文字保雄社長は「日本の人口が減っているな



にぎわいを見せる炭火焼・唐揚げゾーン。



かで鶏肉消費量はじわじわ増えており、栄養成分や身体への影響など鶏肉のよさがわかってもらえればもっと増えると思われる。緩やかな安定した伸びを続けて、いつか九州を追い越して岩手が日本一になりたい」と意気込みを語り、生産者たちは北いわてで初めて開催された「合戦」に手ごたえを感じていたようでした。

### 美味しさのヒミツは血筋と環境

二戸地域は、日本古来種の国指定天然記念物「若手地鶏」から開発された「二戸地鶏」のふるさと。旨味や歯ごたえに優れるこの「二戸地鶏」と、各生産者が工夫した方法で飼育される「銘柄鶏」が高く評価されています。

イベント初日にステージでチキン料理を披露してくれた料理研究家の小野寺恵さんも「豊かな自然のなかで育っているのだから、ケガなくジューシーで料理しやすい。全国のなかでもすばらしい品質」と絶賛。来場者の女性も「学生時代に岩手を離れて、二戸の鶏肉がおいしかったことに気付きました」と振り返っていました。



ジューシーな唐揚げの美味しさに勝負も忘れる!? いちカラドッグ早食い合戦。



コケッコォー! 絶叫長さ合戦!



岩手のチキンも大健闘!



からあげグランプリ◎金賞受賞の2店も出店し、おいしそうなのに引き寄せられます。



なかなかお目にかかれない鶏肉のさばき方実演ステージ

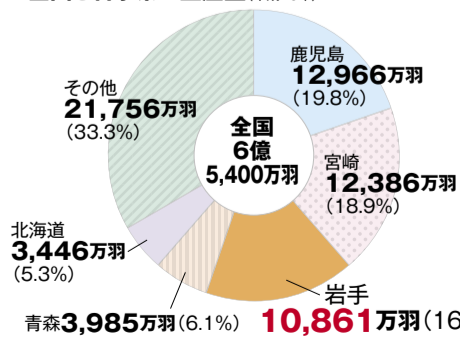


料理研究家の小野寺恵さんのチキン料理。

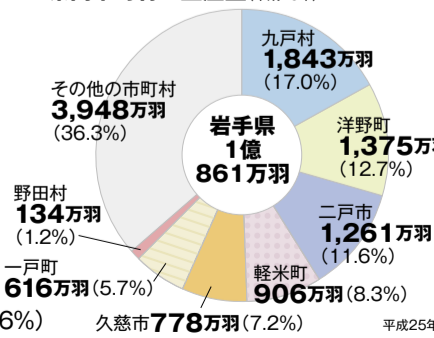
## 岩手県を代表する鶏肉の生産地・北いわて

県全体の生産量1億羽強。そのうち6割が北いわて7市町村で生産されています。

全国と岩手県の生産量(平成25年)



県内市町村の生産量(平成25年)



県内の生産の多い市町村(平成25年)

- 九戸村 1,843万羽
  - 洋野町 1,375万羽
  - 一関市 1,284万羽
  - 二戸市 1,261万羽
  - 軽米町 906万羽
  - 久慈市 778万羽
  - 八幡平市 684万羽
  - 一戸町 616万羽
  - 住田町 593万羽
  - 盛岡市 371万羽
  - ...
  - 野田村 134万羽
- (岩手県チキン協同組合調べ)

## 北いわての銘柄鶏

(株)阿部繁孝商店	さわやかあべどり
(株)十文字チキンカンパニー 岩手農協チキンフーズ(株)	菜・彩・鶏、鶏王
プライフーズ(株)	五穀味鶏
(株)フレッシュチキン軽米	純和鶏
二戸地鶏(南部かしわ)生産組合	二戸地鶏(南部かしわ)

# 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会を成功させよう

県北広域の会場で夢と感動の時間を！心をこめたおもてなしで全国のみなさんをお迎えしましょう



平成28年に岩手県で開催される希望郷いわて国体・希望郷いわて大会は、東日本大震災津波からの復興に向けて、全力で取り組んでいる最中での開催となります。全国各地から訪れる選手・役員の皆さんを「おもてなしのこころ」で歓迎することを通じ、復旧・復興に多くの御支援をいただいている全国の皆様へ、感謝の気持ちを伝えましょう。

Chapter  
05

## 希望郷いわて国体・大会「私たちのおもてなし」

### なぎなたのまち、一戸町 選手が競技に集中できるおもてなしを

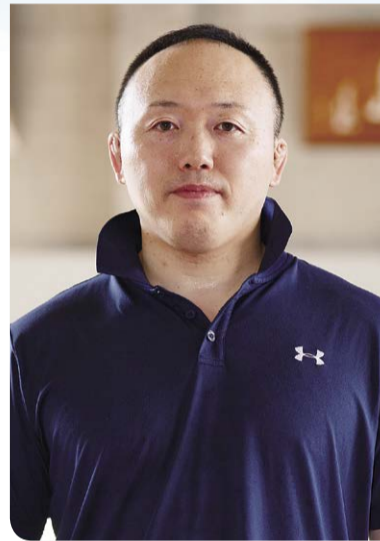


一戸町教育委員会  
生涯学習課 主事  
**西村 美香**さん



なぎなたとの出会いは幼稚園の頃です。大学を卒業し一戸町教育委員会赴任後は、なぎなたの競技指導に取り組んでいます。一戸町では昔からなぎなたが盛んで、中学校の武道必修科目になっているほどです。希望郷いわて国体の準備には競技者としての立場で運営に携わることができます。全国から訪れる選手のみなさんが最高のかたちで競技に専念できるよう、準備を進めているところです。(談)

### 三船十段の「空気投げ」の映像は必見 選手を「柔道のまち」がおもてなし



久慈市立三船十段記念館  
主査 柔道指導員  
**森 将彦**さん



小学生のときに柔道を始めました。現在、当記念館の道場で稽古に励む小学生は30名程度。「柔道のまち・久慈市」として、もっと増えてほしいところです。希望郷いわて国体では久慈市民体育館が柔道競技の会場となります。国体前年の平成27年は三船十段没後50年です。当記念館では三船十段の「空気投げ」の映像を始めとした貴重な資料を紹介しています。全国から訪れる選手、役員及び観客の方々を温かくお迎えしたいです。(談)

## わたしたちにできる「おもてなし」

きれいなまちで  
歓迎しましょう

ゴミのない、きれいなまちで  
お迎えしましょう



あいさつ・笑顔で  
交流しましょう

はずかしがらずに、こちらから  
声をかけましょう



まちの「魅力」を学び、  
伝えましょう

自分のまちの魅力を勉強して、  
どんどんPRしましょう



## 開催競技種目と会場

※平成26年10月1日現在

- 希望郷いわて国体 (本体会) 正式競技
- 希望郷いわて国体 (冬季大会) 正式競技
- 希望郷いわて国体 デモンストレーションスポーツ
- 希望郷いわて大会 オープン競技

### 洋野町

- 軟式野球 [オーシャン・ビュー・スタジアム]
- サーフィン [種市海浜公園]
- パークゴルフ [洋野町大野パークゴルフ場]

### 軽米町

- 軟式野球 [ハートフル野球場]

### 二戸市

- 剣道 [二戸市総合スポーツセンター]
- スケート ショートトラック [岩手県立県北青少年の家スケート場]

### 久慈市

- 軟式野球 [久慈市営野球場]
- 柔道 [久慈市民体育館]

### 野田村

- 軟式野球 [ライジング・サン・スタジアム]
- ウォークラリー [村内特設会場]

### 一戸町

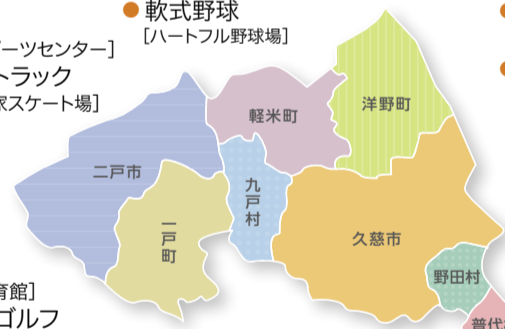
- なぎなた [一戸町体育館]
- ターゲット・パードゴルフ [奥中山高原スキー場]
- ペタンク [一戸町総合運動公園]

### 九戸村

- 軟式野球 [ナインズ球場]

### 普代村

- 軟式野球 [北緯40度運動公園野球場]



第71回国民体育大会

## 2016 希望郷 いわて国体

冬期大会

スケート・アイスホッケー競技会  
平成28年1月27日(水)～31日(日)  
スキー競技会  
平成28年2月20日(土)～23日(火)

本大会

平成28年10月1日(土)～11日(火)  
水泳競技  
平成28年9月4日(日)～11日(日)

第16回全国障害者スポーツ大会

## 2016 希望郷 いわて大会

平成28年10月22日(土)～24日(月)

広げよう 感動。伝えよう 感謝。

